

熊市歯発第 106 号
令和5年11月15日

会 員 各 位

熊本市歯科医師会
会長 渡辺 猛 士
(学術委員会扱い)

令和5年度 熊本市歯科医師会第3回学術講演会のご案内

「患者想いの義歯補綴を成功へ導くためのラボサイド とのアプローチとコミュニケーションを考察する」

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、株式会社ジョイクリエイト代表取締役の中野進也先生をお招きし、下記日程にて講演会を行います。

年々進歩し続ける歯科臨床において、歯科医師が治療のすべてを把握し、診断し、指示することは難しくなっていると感じます。歯科医師は、より専門化した歯科衛生士や歯科技工士と連携し、チームとしてそれぞれの症例に対応することが必要不可欠になっています。

今回は、日々補綴製作に取り組んでおられる歯科技工士の立場で、歯科技工の基本からデジタルデンチャーの考察まで幅広くお話しいたきます。

明日からの補綴治療に役立つ内容ですので、是非ご聴講ください。

参加の際はFAXにて申し込み後、当日は日歯研修カードをお持ちください。

日 時： 令和6年1月27日(土) 15:00~18:00

場 所： 熊本県歯科医師会館 3階市会議室

講 師： 株式会社ジョイクリエイト 代表取締役

歯科技工士 中野進也先生

【抄録】

昨今、超高齢化社会において義歯の需要が高まっている様に感じる。

私は、院内技工士として10年、独立開業して12年の経験の中で、常に「患者に寄り添う義歯製作」を心がけてきた。院内技工10年間は、自分が製作した義歯が「どのように装着され、調整され、機能されるか」を中心に観察・考察してきた。また、独立開業してからは、患者立会い技工の中で患者の口腔内、顔貌、要望にマッチするかを観察・考察・実行している。

その中で、如何に快適に機能して、永続性のある義歯を提供できるかが必要であると思う。そこには石膏模型だからこそできる、ラボサイドの考察と患者を診るチェアサイドの正確な連携が必要であると思う。

欠損補綴において、義歯は「補綴物の中で最も情報量が少なく、最も大きな補綴物」となる。だからこそチェアサイドとラボサイドの正確な補綴完了へのアプローチとコミュニケーションが必須であると思われる。

本講演では、22年間の義歯製作歴の中で、チェアサイドへの患者想いの義歯補綴を成功へ導くためのアプローチとコミュニケーションを共有できればと思います。

【講師略歴】

1980年 大分県生まれ

2001年 九州医療専門学校 歯科技工士科本科卒業

2002年 九州医療専門学校 歯科技工士専攻科卒業

2002年 医療法人伊東会 伊東歯科口腔病院入社

2012年 ジョイクリエイト 開設

2021年 株式会社ジョイクリエイト 設立



所属・主な活動

- ・社団法人 日本補綴構造設計士協会 講師・専務理事
- ・九州医療専門学校 歯科技工士専攻科 非常勤講師
- ・株式会社松風 テクニカルアドバイザー

FAX申込書 申し込み締め切り日:令和6年1月22日(月)

熊本市歯科医師会事務局行(学術委員会)FAX:344-9778

歯科医院名 _____

会員氏名 _____

歯科医師()名、スタッフ()名